図書館だより

12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
㉓	㉔	25	26	27	㉘	㉙
㉚	㉛					

○印 休館日　月曜日・祝日(23日)
※　年末年始休館　12月28日～1月5日

雪道や降誕祭の窓明り　杉田久女（すぎたひさじょ）

もとローマの異教徒は冬至の日に太陽を拝む習慣があったのを、キリスト教徒は正義の太陽であるキリストの祝日として、主の降誕の日と定めました。

◆もみの木を飾り付けて、みんなでクリスマス・ツリーをつくりましょう。材料は図書館に用意してありますので、ぜひお立ち寄りください。

◆今月中の新刊図書のご案内

♥一般図書

神話の構造　横田健一
江戸時代の先覚者たち　山本七平
叱り方の上手い親下手な親　田中澄江
永仁の壺　松井覚進
万延元年のアメリカ報告　宮永孝
非常識からの出発　森山真弓
伝説になった女たち　山崎洋子
乳ガン治療・あなたの選択　近藤誠
神聖ドイツの大乱　宮崎正弘
きのうの祖国　杉山隆男
浅野ゆう子・スタイルブック　片岡義男
In our time写真集マグナムの40年　内舘牧子
淋しさは川のよう　北方謙三
クリスマス・イブ　鷺沢萌（めぐむ）
破軍の星　山村美沙
葉桜の日　高樹のぶ子
赤い霊柩車　城山三郎
霧の子午線　影山民夫
賢人たちの世　吉川英治
恋文心中　御宿かわせみ平岩弓枝
だから何なんだ　ボブ・グリーン
随筆私本太平記
チーズバーガーズ・2
高校生が答える同世代の悩み　高文研編集部

クリスマスの思い出　トルーマン・カポーティ
アフリカの女王とわたし　キャサリン・ヘプバーン
アガサ・クリスティ　生誕百年　外一六一冊

♥児童図書

ぼくは負けない
ダヤンのクリスマスまでの12日
タバコとわたしたちの環境
子どもたちが地球を救う50の方法
山崎浩子の楽しい体操
おりがみでクリスマス
ムーミン童話全集　一～四巻
ともだちをパーティーによぼう　外五十五冊

青少年健全育成 標語入選発表

十一月の青少年健全育成強調月間には、青少年が健全に育つよう全国で数々の行事が実施されました。この月間を期して広く市民の皆様から公募いたしました標語は、総数五七六点にのぼり、厳正に審査して、優秀三点、佳作六点が選出され、十一月九日の「都留市青少年健全育成大会」において表彰されました。ご協力ありがとうございました。

優秀作品

・話し合う　明るい家庭に　非行なし
　谷二小五年　志村潤子
・知っていますか　子どもの心
　聞いていますか　子どもの言葉
　東桂中一年　遠山かおり
・よその子も　わが子もへだてぬ
　愛の手を
　つる一―三―二三細田晃造

なお佳作々品を含めた全入選作品は、家庭の日のしおりに発表します。

都留市青少年総合対策本部
青少年のための都留市民会議

子どもの心シリーズ（18）

思春期

子どもは発達するにつれて、親を見る目が変化します。児童期に見る親と、思春期に見る親とは違って見えるのです。この変化がでるのは個人差があって、一人ひとり違うのです。早い子は小学校の五、六年生頃から、遅い子は高校生位になる時もあります。早い遅いは、発達と対応するものだと思います。

小学校の頃は、比較的に情緒が安定しています。それは家が、親が保護してくれるからです。子は親の庇護（ひご）の下で安住しているのです。どんなに困った事があっても解決してくれるし、保護してくれるからです。子にとって家は安全な城になるのです。

普通に発達している子は、思春期になると自由と独立を求めるようになります。ところが大部分の親はその心が理解できなくて迷うのです。子どもの帰りが少し遅いと「どこにいたの」、「何をしていたの」としつこく聞くのです。友だちと旅行をしたいというと「誰と行くの」「どこへ行くの」となかなか許可しません。子どもに期待をかける親ほど「勉強しろ、勉強しろ」といいます。ですから子どもから見ると、親は自由を拘束するし、家は「檻（おり）」のようにさえ見える時もあるのです。これが第二反抗期といわれる時です。

第二反抗期になると、子どもの心は不安定にもなります。家の中では親子げんかがでてくるし、親が厳格すぎると、子どもは口をきかなくなったり、避けたりするようにもなります。また、はけ口を弟や妹に求め、いじめる事もあります。こうなると家の中は暗くなります。

この時期がしつけや教育の一番難しく、苦しい時です。しかし、早いか遅いかは別として、一度は通らなければならない関門です。この関門を通過してはじめて自我を確立し、親離れができるのです。この関門を通過した子は安定し、親との関係をうまく処理でき、たくましくなるのです。

教育相談室
☎43―1111
内線　216